

# 埼玉県景気動向指数

2019(平成31)年1月分(改訂版)の概要

平成31年4月15日  
埼玉県総務部統計課

## 1 基調判断

- 景気動向指数(CI一致指数)は、悪化を示している。

## 2 指数の動き

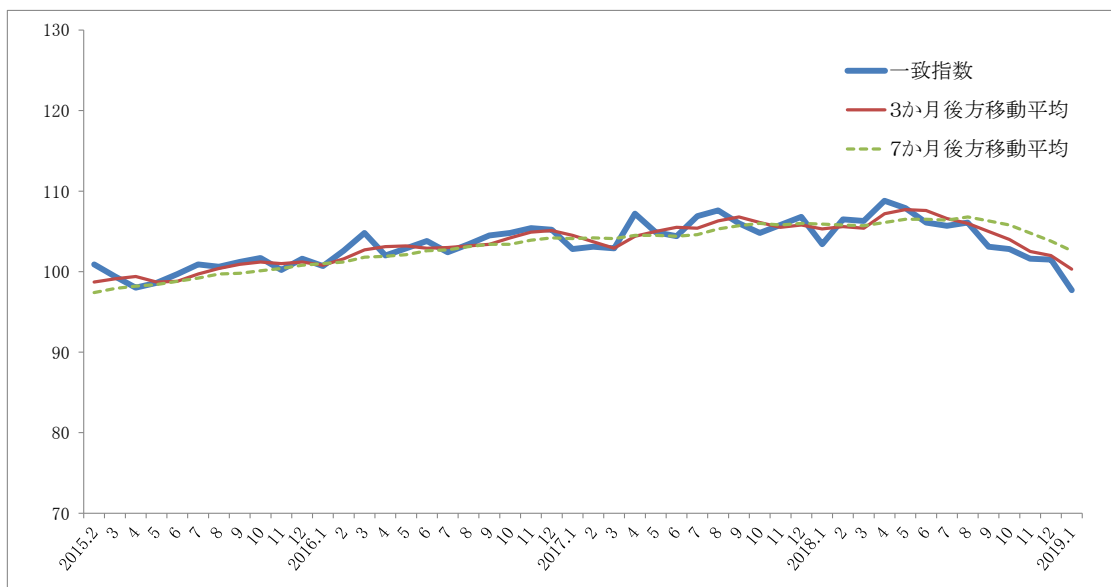
- 1月のCIは、先行指数:107.1、一致指数:97.7、遅行指数:101.0となった。  
(平成27年=100)
- 先行指数は、前月と比較して2.1ポイント下降し、3か月連続の下降となった。3か月後方移動平均は、2.27ポイント下降し、3か月連続の下降、7か月後方移動平均は、1.47ポイント下降し、3か月連続の下降となった。
- 一致指数は、前月と比較して3.8ポイント下降し、5か月連続の下降となった。3か月後方移動平均は、1.70ポイント下降し、8か月連続の下降、7か月後方移動平均は、1.20ポイント下降し、5か月連続の下降となった。
- 遅行指数は、前月と比較して1.1ポイント上昇し、5か月ぶりの上昇となった。3か月後方移動平均は、0.53ポイント下降し、4か月連続の下降、7か月後方移動平均は、0.16ポイント下降し、2か月連続の下降となった。

## 3 一致指数の前月差に対する個別系列の寄与度

寄与度がプラスの系列	寄与度	寄与度がマイナスの系列	寄与度
C2: 県所定外労働時間指数(調査産業計)	0.56	C1: 県生産指数(製造工業)	-1.06
		C8: 県生産財出荷指数	-0.89
		C3: 県投資財出荷指数	-0.86
		C9: 県耐久消費財出荷指数	-0.53
		C6: 県建築着工床面積(非居住用)	-0.32
		C4: 県有効求人倍率(除学卒)	-0.23
		C7: 県百貨店・スーパー販売額	-0.23
		C5: 県雇用保険初回受給者数(逆サイクル)	-0.17

※ 各個別系列のウェイトは均等です。

## 4 一致指数の推移



※平成31年3月29日に公表した景気動向指数では、毎月勤労統計調査の平成31年1月分の公表が3月から4月に延期となったため、C2:県所定外労働時間指数(調査産業計)、LG2 県常用雇用指数(全産業)、LG7 県名目賃金指数(定期給与・製造業)のデータは反映していませんでした。今回の改訂版は、毎月勤労統計調査の平成31年1月分までのデータを使用して再推計したものです。